

アクセスの向上（その2）

東九州自動車道が、高鍋～西都の開通に引続き、門川～日向が開通することで、宮崎県北部地域から宮崎県庁までの高速交通ネットワークが形成され、アクセスが向上します。



これまで(高鍋～西都開通前):

距離 : 約91km(国道10号)

時間 : 約130分



7/17高鍋～西都開通後(現況):

距離 : 約105km(高鍋～西都供用)

時間 : 約121分 **[9分短縮]**



12/4門川～日向開通後(今回):

距離 : 約106km

時間 : 約113分 **[8分短縮]**

高鍋～西都・門川～日向開通により、

[17分短縮]

道路時刻表より算出

【延岡市(市役所) 宮崎市(宮崎県庁)までの所要時間】

一般国道10号利用に比べ、**約20分短縮**

東九州自動車道（門川 IC～日向 IC）の整備効果

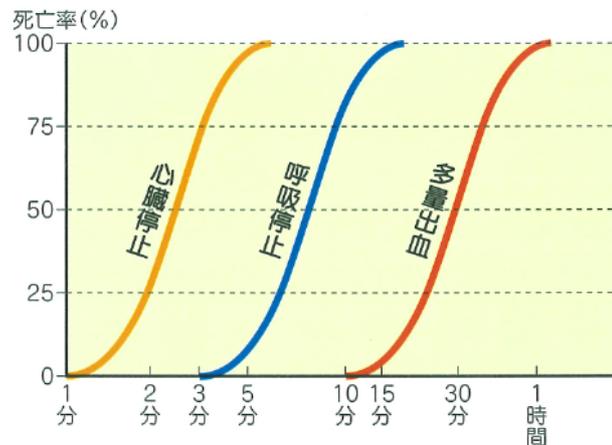
救急医療体制の強化

宮崎県日向市地域から延岡市内にある第3次医療施設への搬送時間が短縮され、救急医療活動への貢献が期待されます。



【治療を受けるまでの時間と死亡率の関係】

多量出血患者の死亡率は、30分で約50%、1時間でほぼ100%



資料：日本放送協会 NHK スペシャル
 (西ドイツ死者激減第2次交通戦争の処方箋)

東九州自動車道（門川 IC～日向 IC）の整備効果

周辺地域の活性化

今回の開通により高速道路へのアクセスが向上し物流の効率化が図られ、宮崎県北部地域（門川・日向）の観光産業や地域産業（農畜産物）の拡大・発展による周辺地域の活性化が期待されます。

